

平成27年4月 全国百貨店売上高概況

平成27年5月19日

I. 概況

1. 売上高総額	4,722億円余
2. 前年同月比	13.7% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	82社 239店 (平成27年3月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,053,713㎡ (前年同月比: -2.0%)
5. 総従業員数	78,471人 (前年同月比: -1.9%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	9-11月 -1.3%、10-12月 -1.6%、11-1月 -1.8% 12-2月 -1.3%、1-3月 -8.6%、2-4月 -4.7%

[参考] 平成26年4月の売上高増減率は-12.0% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

4月は、前年が消費税率引き上げ直後の買い控えによる大幅減(-12.0%/全国・店舗数調整後)の反動もあり、前年同月比13.7%増と大きく売上を伸ばした。特殊要因を除く一昨年対比でも0.1%増を確保。地区別では、東京(+17.8%)、名古屋(+20.1%)、大阪(+18.3%)の三大都市圏が堅調だった他、多くの地区で二桁増となり、全地区がプラスとなった。

主要品目では、身のまわり品(ラグジュアリーブランド含む)、雑貨、家庭用品が大幅増となり、衣料品も二桁増に迫ったことに加え、反動の影響が比較的少ない食料品も2.9%増となるなど主要5品目全てが前年を上回る好結果を示した。

細分類では、子供服や、その他衣料品(高級寝具含む)、家電(美容器具好調)などが高伸。また、株高や消費マインドの向上、訪日外国人パワーによる底上げなどにより、化粧品(+48.6%)、高級時計を軸にした美術・宝飾・貴金属(+77.3%)の活況が特筆される。

なお、訪日外国人売上高は、中国のお盆に当たる清明節や、花見ツアー客の増加を背景に、購買客数が初めて20万人を超え(+206.6%)、それに伴って売上高も過去最高(+221.4%)を記録するなど、増勢に拍車がかかっている。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇南から暖かい空気が流れ込んだ影響で全国的に気温は高く、特に西日本ではかなり高かった。上下旬に前線の影響で北日本から西日本にかけて天気の崩れる日が多く、東・西日本太平洋側で月間日照時間がかなり少なかった。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日(" ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数137店舗)

①増加した: 34店、②変化なし: 44店、③減少した: 59店

(5) 4月歳時記(春物商戦、新生活、花見、昭和の日)の売上(同上/有効回答数119店舗)

①増加した: 26店、②変化なし: 75店、③減少した: 18店

全国百貨店 売上高速報 2015年04月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全国	472,258,230	100.0	13.7 (13.2)
10都市	320,274,765	67.8	16.2 (15.9)
札幌	11,452,902	2.4	13.3
仙台	6,611,591	1.4	14.1
東京	127,893,632	27.1	17.8
横浜	27,931,832	5.9	11.2
名古屋	29,815,619	6.3	20.1
京都	19,758,268	4.2	11.1 (7.6)
大阪	60,107,436	12.7	18.3
神戸	11,988,419	2.5	12.7
広島	9,655,625	2.0	8.5
福岡	15,059,441	3.2	14.9
10都市以外の地区	151,983,465	32.2	8.8 (7.8)
北海道	2,271,037	0.5	3.2
東北	7,555,958	1.6	4.4
関東	70,479,523	14.9	8.8
中部	11,487,098	2.4	6.3
近畿	20,064,898	4.2	7.3
中国	10,255,007	2.2	11.0
四国	7,813,349	1.7	12.3
九州	22,056,595	4.7	11.4 (4.7)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	472,258,230	100.0	13.7 (13.2)
紳士服・洋品	34,084,511	7.2	10.5 (10.3)
婦人服・洋品	105,721,465	22.4	7.9 (7.4)
子供服・洋品	14,904,967	3.2	14.9 (14.7)
その他衣料品	10,427,212	2.2	22.5 (21.9)
衣 料 品	165,138,155	35.0	9.9 (9.5)
身のまわり品	65,001,468	13.8	19.2 (18.8)
化粧品	30,870,979	6.5	48.6 (48.2)
美術・宝飾・貴金属	27,744,904	5.9	77.3 (76.9)
その他雑貨	19,350,341	4.1	9.7 (8.6)
雑 貨	77,966,224	16.5	44.2 (43.5)
家具	5,811,715	1.2	11.7 (11.5)
家電	1,300,591	0.3	22.0 (21.9)
その他家庭用品	16,198,295	3.4	17.3 (17.0)
家 庭 用 品	23,310,601	4.9	16.1 (15.8)
生 鮮 食 品	23,448,581	5.0	0.0 (-0.8)
菓 子	29,168,244	6.2	2.4 (2.0)
惣 菜	26,684,584	5.7	2.8 (2.4)
その他食料品	32,354,857	6.9	5.6 (4.8)
食 料 品	111,656,266	23.6	2.9 (2.3)
食 堂 喫 茶	13,321,500	2.8	1.3 (1.0)
サ ー ビ ス	6,322,423	1.3	7.0 (6.7)
そ の 他	9,541,593	2.0	8.4 (7.6)
商 品 券	12,273,775	2.6	-0.6 (-0.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	16.2% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	8.8% (店舗数調整後/13か月ぶりプラス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	16.2	10.7	2か月ぶりプラス
札幌	13.3	0.3	2か月ぶりプラス
仙台	14.1	0.2	2か月ぶりプラス
東京	17.8	4.7	2か月ぶりプラス
横浜	11.2	0.7	2か月ぶりプラス
名古屋	20.1	1.2	5か月ぶりプラス
京都	11.1	0.5	9か月ぶりプラス
大阪	18.3	2.2	2か月ぶりプラス
神戸	12.7	0.3	8か月ぶりプラス
広島	8.5	0.2	13か月ぶりプラス
福岡	14.9	0.5	5か月ぶりプラス
10都市以外の地区	8.8	3.0	13か月ぶりプラス
北海道	3.2	0.0	13か月ぶりプラス*
東北	4.4	0.1	2か月ぶりプラス*
関東	8.8	1.4	2か月ぶりプラス
中部	6.3	0.2	7か月ぶりプラス
近畿	7.3	0.3	13か月ぶりプラス
中国	11.0	0.2	13か月ぶりプラス*
四国	12.3	0.2	2か月ぶりプラス
九州	11.4	0.5	2か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、衣料品、雑貨、食料品が2か月ぶり、身のまわり品が5か月ぶり、家庭用品が13か月ぶりのプラスと全品目がプラスとなった。また、紳士服・洋品、子供服・洋品、その他衣料品、化粧品、美術・宝飾・貴金属、家具、家電、その他家庭用品が二桁のプラス、その他の品目も前年並の生鮮食品を除く全品目が一桁プラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	13.7	—	2か月ぶりプラス
紳士服・洋品	10.5	0.8	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	7.9	1.9	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	14.9	0.5	2か月ぶりプラス
その他衣料品	22.5	0.5	7か月ぶりプラス
衣料品	9.9	3.6	2か月ぶりプラス
身のまわり品	19.2	2.5	5か月ぶりプラス
化粧品	48.6	2.4	2か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	77.3	2.9	3か月ぶりプラス*
その他雑貨	9.7	0.4	2か月ぶりプラス*
雑貨	44.2	5.8	2か月ぶりプラス
家具	11.7	0.1	13か月ぶりプラス
家電	22.0	0.1	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	17.3	0.6	8か月ぶりプラス
家庭用品	16.1	0.8	13か月ぶりプラス
生鮮食品	-0.0	0.0	13か月連続マイナス*
菓子	2.4	0.2	2か月ぶりプラス*
惣菜	2.8	0.2	2か月ぶりプラス*
その他食料品	5.6	0.4	2か月ぶりプラス*
食料品	2.9	0.8	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	1.3	0.0	2か月ぶりプラス
サービス	7.0	0.1	2か月ぶりプラス
その他	8.4	0.2	2か月ぶりプラス
商品券	-0.6	0.0	50か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>